

紀州棕栢工業組合定款

0562 県史編さん班移管資料 文書号 18

5 1 2 3 4 5 6 7 8 9 29 40 1 2 3 4 5 6 7 8 9 29 60 1 2 3 4 5 6 7 8 9 29 60 1

紀州・徳島工業組合定款

第一章 總 則

第二章 加入及脱退

第三章 出資準備金持分特別積立金

第四章 組合員ノ權利義務

第五章 事業及其ノ執行

第一節 總 則

第二節 檢 査

第一款 檢 査

第二款 製品ノ荷造

第三節 統 制

第一款 總 則

第二款 生産調節

第三款	價格協定
第四節	共同設備
第五節	製品ノ販賣
第六節	營業ニ必要ナル物ノ供給
第七節	資金貸付及貯金ノ受入
第一款	資金ノ貸付
第二款	貯金ノ受入
第八節	營業ニ關スル指導研究及調査
第九節	販路ノ擴張
第十節	其他ノ施設
第六章	役員
第七章	職員
第八章	會計
第九章	計
第十章	違約處分
第十一章	定款變更及解散
第十二章	雜則

紀州棕栢工業組合定款

第一章 總則

- 第一條 本組合ハ棕栢並ニ椰子蠟燭ノ加工業ノ改良発達ヲ圖ルタメ共同施設ヲナスヲ以テ目的トス
- 第二條 本組合ハ紀州棕栢工業組合ト称ス
- 第三條 本組合ノ地区ハ左ノ通りトス
和歌山縣一圓
- 第四條 本組合ノ事務所ハ和歌山縣那賀郡中野上村大字野上中百六拾七番地ニ置ク
- 第五條 本組合ノ地区内ニ於テ左ノ業ヲ営ムモノヲ以テ組織スルモノトス
一 棕栢及椰子蠟燭ヲ以テ蠟、繩、靴拭、敷マツト、蓑ノ製造業者
ニ 棕栢及椰子蠟燭ノ採集者
三 其他棕栢及椰子蠟燭ノ加工業者
- 第六條 本組合ノ公告ハ組合ノ掲示場ニ掲示シ且ツ大阪府新聞紙ニ掲載シテ之ヲ爲ス
- 第二章 加入及脱退
- 第七條 第五條ニ掲ケタル資格ヲ有スル者ハ本組合ノ承諾ヲ得テ組合員トナルコトヲ得

第八條

本組合ニ加入セントスルモノハ氏名住所營業ノ場所及引受ケンツスル出資口數ヲ記載シタル加入申込書ヲ提出スベシ

第九條

前項ノ申込アリタルトキハ組合ハ理事會ノ決議ニ依リ其ノ可否ヲ決ス
組合ニ於テ加入申込ヲ承諾シタル時ハ其ノ旨申込者ニ通知シ加入金及出資拂込清額ノ拂込ヲ爲シタル後組合員名簿ニ登錄ス
他人ノ持分ノ全部ヲ譲受ケタル者組合ニ加入スル場合又ハ相續ニ因リ被相續人ノ持分ノ全部ヲ取得シタル者其ノ持分ノ拂込ヲ受ケズシテ組合ニ加入スル場合ハ加入金ハ之ヲ免除ス

第十條

組合員ハ左ノ事由ニ依リテ脱退ス
一 組合員タル資格ノ喪失
二 死 亡
三 破 産
四 禁治産
五 除 名

第十一條

組合員ハ前條ノ外本組合ノ承諾ヲ得タル時ハ事業年度ノ終リニ於テ脱退スルコトヲ得
脱退ノ申出ハ少クとも事業年度末貳ヶ月前ニ理由ヲ記載シタル書面ヲ以

第十二條

テ之ヲ爲スコトヲ要ス
前項ノ申出アリタル時ハ組合ハ理事會ノ決議ニ依リ其ノ可否ヲ決ス
組合員左ノ各號ノ一ニ該当スル時ハ組合ハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ除名スルコトヲ得

第十三條

一 出資拂込及過怠金ノ納付ヲ怠リ催告ヲ受ケタル後一ヶ月内ニ其ノ義務ヲ履行セザル時
二 組合ノ事業ヲ妨ゲ又ハ妨ゲンツスル行爲アリタル時
三 犯罪其他ノ行爲ニ依リ信用ヲ失ヒタル時
前項ノ決議ハ總會組合員ノ半数以上出席シ其ノ議決權ノ四分ノ三以上ヲ以テ之ヲ爲ス
脱退シタル組合員ニ對スル持分ノ拂込シ又ハ脱退シタル組合員ノ損失ノ分擔ハ左ニ依ル
一 未拂込出資金ヲ除キタル本組合財産が拂込済出資總額以上ナル時ハ拂込済出資金額ヲ拂込スモノトス但シ除名ニ依ル場合ハ其ノ半額トス
二 未拂込出資金ヲ除キタル本組合財産が之ヲ以テ本組合ノ債務ニ充實スルニ足ルモ拂込済出資總額ニ達セザルトキハ第二十一條第四項ニ依リ算定シタル金額ヲ拂込スモノトス但シ除名ニ依ル場合ハ其ノ半額トス

第十四條

三、未拂込出資金ヲ除キタル本組合財産が之ヲ以テ本組合ノ債務ヲ充済スルニ足ラザル時ハ第二十二條第四項ニ依リ算定シタル損失ノ負擔額ヲ拂込マシムルモノトス但シ未拂込出資金額ヲ限度トス
持分ノ拂込ハ其ノ事業年度末ヨリ三ヶ月内ニ之ヲ爲ス
但シ脱退者ハ組合ニ對スル債務ヲ有スル時ハ其ノ充済ニ至ル迄持分ノ拂込ヲ停止スルコトヲ得

第三章 出資準備金及持分

第十五條

出資一口ノ金額ハ金貳拾圓トス
出資ハ金貳ヲ以テ拂込ムモノトス

第十六條

組合員ノ出資口數ハ一口以上五十口以下トス

第十七條

出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金五圓トス

第十八條

第二回以後ノ出資拂込ハ配當スベキ剩餘金中ヨリ拂込ニ充ツルモノノ外必要ニ應ジ總會ノ決議ニ依リ拂込ヲ爲サシム

第十九條

出資ノ拂込ヲ怠リタル時ハ其ノ拂込ムベキ金額ニ對シ期日後日歩四銭ノ割合ヲ以テ延滞金ヲ徴收ス

第二十條

出資口數ヲ増加スル場合ニハ増口金ヲ徴收ス増口金ノ額ハ年度毎ニ總會ニ於テ之ヲ定ム

第二十一條

組合員ノ持分ハ左ノ標準ニ依ル

一、拂込済出資總額ニ付テハ各組合員ノ拂込済出資金額ニ依リ算定ス

二、準備金額ニ付テハ各組合員ノ拂込済出資金額ニ依リ事業年度末毎ニ算定如算ス

三、特別積立金額ニ付テハ各組合員ノ拂込済出資金額ニ依リ事業年度末毎ニ算定如算ス

四、別途積立金ニ付テハ各組合員ノ拂込済出資金額ニ依リ事業年度末毎ニ算定如算ス

定款第二十七條又ハ第二十四條第二項ニ依リ損失ノ填補ヲナシタル時ハ其ノ損失額ヲ填補シタル科目ノ金額ニ付有スル持分ニ按分シ其持分中ヨリ之ヲ控除ス第二十六條第二項但書ノ規定ニ依リ別途積立金ヲ臨時緊急ノ費用ニ充テタル場合亦同ジ

未拂込出資金ヲ除キタル本組合財産が拂込済出資總額ヨリ減少シタルトキハ持分ハ各組合員ノ拂込済出資金額ニ依リ算定ス

第二十二條

第二十三條

組合員ハ組合ノ承諾ヲ得タル場合ニ限り組合員又ハ本組合ニ加入ノ承諾ヲ得タル者ニ對シテノミ其ノ持分ノ全部又ハ一部ヲ譲渡スルコトヲ得
持分ノ譲受人ハ其ノ持分ニ付譲渡スル權利義務ヲ繼承ス

第二十四條

本組合ハ出資總額ノ十倍ニ達スル迄毎年年度ノ剩餘金ノ四分ノ一以上ヲ準備金トシテ積立ツルモノトス

第二十五條

準備金ハ損失ノ填補ニ充ツ
加入金増口金延滞金還息金及持分ニ付第十三條ノ規定ニ依リ拂戻シラザル金額ハ之ヲ準備金ニ組入ルモノトス

第二十六條

- 一 特別積立金 十分ノ一以上
- 二 別途積立金 十分ノ二以上

第二十七條

特別積立金ハ基本財産トシテ之ヲ積立ツルモノトス別途積立金ハ共同設備ノ償却ニ充ツ但シ別途積立金ハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ臨時緊急ノ費用ニ充ツルコトヲ得

第二十八條

本組合ニ損失アリ準備金ヲ以テ填補スルモ尚足ラザル時ハ別途積立金ヲ以テ之ヲ填補ス

第二十九條

準備金又ハ積立金利用保管ノ方法ハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ定ム

第四章 組合員ノ權利義務

第三十條

組合員ハ本組合ニ對シ左ノ權利ヲ有ス

一 總會ニ出席シ其ノ議決權ヲ行使スルコト

ニ施設ヲ利用スルコト

三 配當ヲ受クルコト

四 組合ノ業務及財産ノ狀況ニ付理事ノ説明ヲ求メ又ハ組合ノ書類及帳簿ノ閲覧ヲ請求スルコト

五 脱退シタル場合ニ於テ其ノ持分ノ拂戻ヲ請求スルコト

六 解散ノ場合ニ於テ剩餘ノ財産アルトキハ其ノ分配ヲ受クルコト

第三十一條

組合員ハ本組合ニ對シ左ノ義務ヲ有ス

一 定款及決議ヲ遵守スルコト

ニ 出資ノ拂戻ヲ爲スコト

三 第八條ノ記載事項ニ変更ヲ生ジタル時ハ直チニ其旨ヲ届出スルコト

四 役員ノ召喚ニ應シ又ハ照會若クハ質問ニ對シ回答ヲ爲スコト

五 新ニ組合ニ加入シタルモノハ加入前ニ生ジタル組合ノ債務ニ付テモ未責任ヲ負フコト

六 解散ノ場合ニ於テ本組合ニ債務アルトキハ其ノ責任ノ限及ニ於テ其ノ債務ヲ分擔スルコト

第五章 事業及其ノ執行

第一節 總則

第三十條 本組合ハ其ノ目的ヲ達スル爲メノ事業ヲ行フ

一 統 制

ニ 製品ノ加工及共同設備

三 資金ノ貸付及貯金ノ受入

四 製品ノ検査

五 製品ノ委託販賣

六 販路ノ拡張

七 營業ニ關スル指導研究及調査

八 營業ニ必要ナル物ノ供給

九 其ノ他ノ施設

第三十一條 前條第二號及第四號ノ施設ハ組合員ノ利用ニ支障ナキ場合ニ限り組合員ニ非ザル者ヲシテ利用セシムルコトヲ得

第二節 檢 査

第一款 製品ノ検査

第三十二條 本組合必要アリト認ムル時ハ組合員ノ製品ニ付本組合ノ検査ヲ行フ

第三十三條 検査ハ本組合ノ検査所ニ於テ検査員ヲシテ之ヲ行ハシム

但シ本組合必要アリト認ムル時又ハ別ニ定ムル規定ニ依リ申請アリタル

時ハ組合員ノ製造場店師倉庫其他ノ場所ニ出張シテ之ヲ行ハシムコトアルベシ

第三十四條 検査ハ製品毎個ニ付之ヲ行フ但シ本組合ニ於テ其ノ必要ナシト認メタル

時ハ適宜採取検査ニ止ムルコトヲ得

第三十五條 検査ノ成績ハ之ヲ合格不合格ノ二種トシ左記規定ニ適合セザルモノハ不

合格トス

一 手製練棉繩 品質ヲ精製シ一樹ノ延長六尺トシ拾玖付(但從來ノ三々付)ノ

樹數ハ任意トシ十五尺二十尺二十五尺以上四十樹トス

二 打細 長サ壹百四十寸トス(尋ハ五尺)但シ該尋數過不足アルモノハ正確ナ

ル尋數ヲ必ズ明記スルヲ要ス

三 太サハ直径ヲ以テ之ヲ表示シ超過分徑ハ一分以内トス腐敗原料ヲ使用ス

ルコトヲ得ズ

三 靴拭、長マント

山繩製靴拭 一尺平方 徑二十四筋以上

柏木型靴拭 一尺平方 徑三十筋以上

靴拭様付ハ惣メテ三組ヲ堅ク縫ミ縫付ハ一尺ニ付拾針以上トス

綾織マント 一尺平方 徑九十五筋以上

六

七子織マツト 一尺平方 長 八十センチ以上
幅 三十六センチ以上

但シ特殊品ニ限り理事長ノ承認ヲ得テ製作スルコトヲ得

長マツト 一巻ノ長サ百五十センチトス

生機細ハ長サ貳百五十センチ以上トス但シ特殊ノモノハ其ノ長サヲ明記スルヲ要ス細目ハ正確ナルヲ要ス

四 機械製網

細網ハ一把ノ長サ百五十センチ以上トシ特種糸ハ細網ギトナスヲ要ス

一把ノ目付ハ最重最軽ノ差一割ヲ超ユルモノヲ混合スルコトヲ得ズ

一把七十センチ以上ノモノハ長サニテ一定スルモノトス

短サ一尺六寸五分トス 長サ二尺トス

三子繩太サ直径ニテ正確ニ表示スベシ一本ノ長サ五十センチトス(尋五尺)

三子野村繩ハ貳拾尋ラ一把トス

三子窓引繩ハ參拾尋ラ一把トス

備中繩長サ參拾入ラ一把トス

五 棕招養

原料ハ優良ナル棕招皮ヲ使用スルヲ要ス腐敗皮及傷物ヲ絶対ニ使用スベ

カラズ

縫製首繩ハ三十尋物一把二十センチ付以上他ハ十センチ付以上ノ物ヲ使用ス

帯繩ハ二十五センチ付以上トス

前中入ハ棕招皮若クハ藁繩キ毛以外ノモノヲ使用スベカラズ

縫目ハ何レモ復線ニ縫フモノトス

首皮ヲ捲リ上げテ段ニ付裏ヨリ縫フ時ハ表皮一枚ヲ除キ悉ク縫ヒ通スベシ

袖ハ水平以上トス

表面ニ縫糸ノ現レザル様仕上グベシ

但シ特殊品ハ理事長ノ承認ヲ得テ製作スルコトヲ得

種類及仕上グハ左表ノ通り

	重量	縫目	前付大段	同七段	同八段	同九段	前無六段	備
袖	一尺五寸以上	一尺六寸以上	一尺九寸以上	一尺九寸以上	一尺九寸以上	一尺九寸以上	一尺五寸以上	至白
前	一尺以上	一尺二寸以上	一尺五寸以上	一尺五寸以上	一尺五寸以上	一尺五寸以上	ナシ	至白
首	一尺二寸五分以上	一尺五寸以上	一尺五寸以上	一尺五寸以上	一尺五寸以上	一尺五寸以上	一尺五寸五分以上	至白
首縫目	四十以上	四十五以上	四十五以上	四十五以上	四十五以上	四十以上	十ヲ求ス	至白
身	一尺二寸以上	一尺五寸以上	一尺五寸以上	一尺五寸以上	一尺五寸以上	一尺五寸以上	一尺五寸五分以上	至白
綿	一尺九寸以上	一尺九寸以上	一尺九寸以上	一尺九寸以上	一尺九寸以上	一尺九寸以上	一尺九寸五分以上	至白
縫	一尺九寸以上	一尺九寸以上	一尺九寸以上	一尺九寸以上	一尺九寸以上	一尺九寸以上	一尺九寸五分以上	至白
重	一尺九寸以上	一尺九寸以上	一尺九寸以上	一尺九寸以上	一尺九寸以上	一尺九寸以上	一尺九寸五分以上	至白
七	一尺九寸以上	一尺九寸以上	一尺九寸以上	一尺九寸以上	一尺九寸以上	一尺九寸以上	一尺九寸五分以上	至白

ケ竹括リトナシ五玉ヲ壹個トス壹個ノ目方左ノ通りトス

一分徑 六貫以内 一分五厘徑 八貫以内

二分徑 拾壹貫以内 二分五厘徑 拾六貫以内

三分徑 貳拾壹貫以内 三分五厘徑 貳拾七貫以内

四分徑 參拾五貫以内トス

第三十八條

第三十六條及第三十七條ノ標準ニ適合シタル合格品ニハ左記様式ノ證紙ヲ貼付ス



角分二寸一尺曲



丸分二寸一尺曲

第三十九條

不合格品ニ對シテハ證紙ノ貼付ヲナスコトヲ得ズ
組合員検査ノ結果ニ對シ不取アルトキハ検査アリタル後五日以内ニ再検査ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第四十條

再検査ノ結果ニ對シテハ不服ノ申立ヲ爲スコトヲ得ズ
組合員ハ其ノ製品ニ付本組合ノ検査ヲ受ケ検査證紙ノ貼付セル製品ニ非ザレバ之ヲ販賣シ又ハ販賣ノ目的ヲ以テ搬出スルコトヲ得ズ

第四十一條

本組合ノ検査員ノ報告ニ依リ製品検査ニ付貽電アリト認メタル時ハ一時出荷ノ停止荷造ノ開放其他必要ナル取締ヲナスコトアルベシ

第四十二條

本組合ハ組合員ニ非ザル者ノ製品ト雖モ其ノ請求アル時ハ別に定ムル規定ニ依リ之ヲ検査スルコトヲ得

第四十三條

検査手数料ハ一個ニ付金貳圓トス

第三十五條但シ書ノ規定ニ依ル取扱検査ヲ行ヒタルトキト雖モ検査請求ノ全数量ニ對スル手数料ヲ徴收ス

第三十四條ノ規定ニ依リ出張検査ヲ行ヒタル時ハ所定ノ手数料ノ外出張ニ要シタル実費ヲ徴收ス

組合員外ノ者ニ對スル手数料ハ組合員ニ對スル手数料ノ倍額トス

第三節 統 制

第一款 總 則

第四十四條

本組合ハ市場ノ狀況ニ依リ生産調節價格協定其他ノ統制ヲナス

第四十五條

本節ノ事業ニ關シテハ總會ノ決議ヲ以テ別に規定ヲ定ム

前項ノ決議ハ總組合員ノ三分ノ二以上出席シ其ノ議決權ノ四分ノ三以上ヲ以テ之ヲ爲ス

第四十六條

組合ニ於テ前條ノ規定ヲ定メタル時ハ行政官廳ノ認可ヲ受ケタル後之ヲ

九

第四十七條 施行ス
本組合ハ統制ヲ確保スル爲メ統制証紙ヲ発行シ組合員ニ交付ス
統制証紙ノ形状



組合員ハ前項ノ統制証紙ヲ貼付シタル製品ニ非ザレバ之ヲ取引スル事ヲ得ス
第二款 生産調節

第四十八條 本組合ハ組合員ノ製品中必要ニ應ジ生産調節証紙ヲ貼付シタル製品ニ非ザレバ之ヲ取引スル事ヲ得
ス事ヲ得
生産調節ハ一定期間ノ生産総額ヲ定メ過 三ヶ年以内ノ生産額及生産設
備ヲ基準トシテ組合員ニ割當之ヲ爲ス
組合員前項ノ割當ヲ受ケタル時ハ其割當額ヲ限度トシテ生産スルモノト
ス但シ其割當額ノ一割ヲ限度トシテ生産スルコトヲ得

第五十條 本組合ハ割當數量又ハ超過數量ニ應ジ左ノ統制手数料又ハ超過手数料ヲ
徴収ス
一 統制手数料

種類	単位	材料	金
生糸	百本	壹圓	貳角
絹	百本	壹圓	貳角
絹織物	百本	壹圓	貳角
絹織物	百本	壹圓	貳角
絹織物	百本	壹圓	貳角
絹織物	百本	壹圓	貳角
絹織物	百本	壹圓	貳角
絹織物	百本	壹圓	貳角
絹織物	百本	壹圓	貳角
絹織物	百本	壹圓	貳角

ニ超過手数料

種類	単位	材料	金
生糸	百本	壹圓	貳角
絹	百本	壹圓	貳角
絹織物	百本	壹圓	貳角
絹織物	百本	壹圓	貳角
絹織物	百本	壹圓	貳角
絹織物	百本	壹圓	貳角
絹織物	百本	壹圓	貳角
絹織物	百本	壹圓	貳角
絹織物	百本	壹圓	貳角
絹織物	百本	壹圓	貳角

第三款 價格協定

第五十一條 本組合ハ組合員ノ製品中生産調節証紙ヲ貼付シタル製品ニ非ザレバ之ヲ取引スル事ヲ得
トラ得

第五十二條 前條ノ價格ハ一定ノ基準ニ依リ標準價格ヲ算出シ市況其他ヲ参照シテ之
ヲ定ム
前項ノ價格ノ決定アリタル時ハ組合員ハ之ヲ遵守スベシ

第四節 共同設備

第五十三條

本組合ハ組合員ノ製品又ハ材料ニ付其ノ委託アリタルトキハ保管又ハ加工ヲ爲ス

第五十四條

本組合ハ前條ノ保管又ハ加工ヲナス爲メ左ノ設備ヲ設ク

一 共同保管倉庫

二 凍色工場ノ設備

第五十五條

本組合ハ前條ノ保管料利用料トシテ左ノ手数料ヲ徴收ス

保管料 拾圓ニ付 一ヶ月 金壹圓以内

利用料 壹圓ニ付 金五圓以内

第五十六條

組合員ハ本組合設備工場以外ニ於テ凍色處理ヲナスコトヲ得ズ

第五節 製品ノ販賣

第五十七條

本組合ハ組合員ノ製品ニ限リ委託アリタル時ハ之ヲ販賣ス

一 本組合ハ組合員ノ製品ニ付陸海軍其ノ他官公署ヨリ注文アリタルトキハ之ヲ引受ケ本組合ニ於テ之ヲ販賣ス

二 本組合前條ニ依リ注文ヲ引受ケタルトキハ理事會ノ決議ヲ以テ之ヲ舊技製品ヲ製造スル組合員ニ價格及期日ヲ指定シ其ノ生産設備ヲ基準トシテ割當製造セシム

但シ理事會ニ於テ特別ノ事情アリト認メタルトキハ組合員ヲ指定シ製造セシムルコトヲ得

第一項ニ依リ割當ヲ受ケタル組合員ハ其ノ製造ヲ引受ケ指定期日迄ニ其ノ製品ヲ本組合ニ納入スベシ

三 前條ニ依リ指定シタル納入期日ノ遅延又ハ製品検査不合格等ニ依リ本組合損失ヲ蒙リタルトキハ之ヲ舊技責任組合員ニ轉讓スルモノトス

組合員ハ其委託品ノ賣價賣却時期及取引先ヲ指定スル事ヲ得ズ但シ特別ノ事由ニ依リ理事會ノ承認ヲ得タルモノハ此ノ限りニアラス

第五十八條

販賣代金ノ收納ハ本組合其ノ責ニ任ズ

第五十九條

本組合ハ第五十七條ノ販賣ニ関シ左ノ手数料ヲ徴收ス

一 賣上金壹百圓ニ付 五圓ノ割

第六節 營業ニ必要ナル物ノ供給

第六十條

本組合ハ理事會ノ決議ニ依リ左ノ物ヲ囑ハシ組合員ニ供給ス

一 凍色油

二 凍 料

三 柿蓑及椰子蠟燭類

第六十一條

前條第一號及第二號ニ掲ゲタル物ハ本組合ニ於テ囑ハシ申込ニ應ジ之ヲ

ト

供給ス

第六十三條 組合員ノ營業ニ必要ナル物ノ供給ニ關スル事項ハ總會ノ決議ヲ以テ別ニ之ヲ定ム

第七節 資金貸付及貯金ノ受入

第一款 資金ノ貸付

第六十四條 本組合ハ組合員ニ對シ其ノ營業ニ必要ナル資金ヲ貸付ヲナス

第六十五條 組合員ヨリ貸付ノ請求アリタル時ハ本組合ハ第六十三條ノ規定ニ依リ信用評定委員ノ作製シタル信用程度表及貸付金ノ用途ヲ調査シ其ノ金額及貸付方法ヲ定ム

第六十六條 貸付ハ証書貸付、手形貸付及當座貸付シ越ノ三種トシ保證入ヲ立タシメ又ハ擔保ヲ供セシムルモノトス

第六十七條 擔保ヲ徵シ貸付ヲナス場合ノ擔保ノ評價ハ時價ノ六割以内ニ於テ本組合之ヲ爲ス但シ期間内ニ時價低落シタルトキハ本組合ハ擔保ヲ増加セシムルコトアルベシ

第六十八條 手形貸付ノ期間ハ六十日以内ニ於テ之ヲ定メ証書貸付及當座貸付ハ一ヶ年以内ニ於テ之ヲ爲シ在年五月十一月ノ二回ニ其ノ利息ヲ計算ス但シ組合ノ都合ニ依リ何時ニテモ貸金ノ返還解約ノ要求ニ應ズルモノトス

第六十九條 貸付金ノ利率ハ日歩ニ銀五厘ノ範圍内ニ於テ理事會之ヲ定メ豫メ之ヲ公告ス之ヲ変更シタル場合亦同ジ

第七十條 遅延利息ハ日歩四厘以内トス
組合員左ノ各號ノ一ニ該當スル時ハ本組合ハ期限前ト雖モ辨済ヲ爲サシムルコトヲ得

一 貸付ノ目的ニ反シタルトキ

二 利息又ハ割賦金ノ支拂ヲ怠リタルトキ

三 第六十七條但シ書ノ擔保ノ増加ニ應ゼザルトキ

四 組合ヲ脱退又ハ脱退セントシタルトキ

五 著シク信用ノ低下シタルトキ

第七十一條 本組合ニ信用評定委員十名ヲ置き總會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選任ス

信用評定委員ノ任期ハ貳ヶ年トス但シ再選ヲ妨ケズ

第七十二條 信用評定委員ハ總會ノ決議ニ依リ何時ニテモ解任スルコトヲ得

信用評定委員ノ選任及解任ニ關シテハ理事及監事ノ例ニ依ル

第七十三條 信用評定委員ハ毎年三月定會ヲ開キ組合員各自ノ信用ヲ評定シ信用程度表ヲ作成ス

信用程度表ハ理事長之ヲ保管ス

第七十條 信用評定委員ハ名譽職トス但シ總會ノ決議ニ依リ報酬又ハ手當ヲ支給スルコトヲ得信用評定委員ハ正當ノ理由ヲクシテ辭任スルコトヲ得ス

第二款 貯金ノ受入

第七十五條 本組合ハ組合員ノ貯金ノ受入ヲ爲ス

第七十六條 貯金ハ任意貯金トシ一回金五圓以上トスハ意貯金ハ當座貯金、特別當座貯金、定期貯金ノ三種トス

第七十七條 貯金ノ利率ハ年六分ノ範圍内ニ於テ理事會之ヲ定メ豫メ之ヲ公告ス之ヲ変更シタル場合亦同ジ

第七十八條 貯金ノ利息ハ毎年五月十一月ノ二回ニ於テ之ヲ元本ニ組入ルモノトス本組合ニ對スル貯金ハ本組合ノ承認ヲ經ズシテ之ヲ擔保ニ供シ又ハ讓渡其他一切ノ處分ヲ爲スコトヲ得ス

第八節 營業ニ關スル指導研究及調査

第七十九條 本組合ハ組合員ノ營業ニ關スル指導ノ目的ヲ以テ之ノ施設ヲ爲ス

一 學識經驗アルモノヲ招聘シテ行フ講習又ハ実地指導

ニ 參考品ノ蒐集

第八十條 本組合ハ組合員ノ營業ニ關スル研究ノ目的ヲ以テ之ノ施設ヲ爲ス

一 組合員ノ製品ハ先遣地ニ於ケル優良品トノ比較

ニ 材料ノ試験

ニ 製品ノ製造及加工ニ使用スル新規ナル考案物ノ試験

第八十一條 本組合ハ組合員ノ營業ニ關ノ事項ノ調査ヲナス

一 市況

ニ 販路

三 組合員ヨリ委託アリタル事項

第九節 販路ノ擴張

第八十二條 本組合ハ常ニ販路擴張ヲ圖ルヲ左ノ業務ヲナス

一 廣告及宣傳

ニ 出品ニ關スル事項

三 販路開拓ニ關スル事項

四 其他

第十節 其他ノ施設

第八十三條 本組合ハ組合員ノ委託アリタル時ハ其製品及原料ノ運搬ヲナス

前項ノ運搬ニ關シテハ其ノ実費ヲ徴收ス

第八十四條 本組合ハ其他必要ニ應ジ總會ノ決議ヲ以テ隨般ノ施設ヲナス

第六章 役員

第八十五條

本組合ニ左ノ役員ヲ置ク
理事 十四名 監事 六名

第八十六條

理事ノ内一名ヲ理事長一名ヲ事務理事トシ理事ノ互選ヲ以テ之ヲ定ム
理事及監事ハ總會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選任ス

第八十七條

但シ特別ノ事由アル時ハ組合員ニ非ザル者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得
理事監事ニ選任セシメタル組合員ハ正當ノ事由アルニ非ザレバ之ヲ辞ス
ルコトヲ得ズ

第八十八條

役員組合ニ對シ不正ノ行為アリ又ハ不適任ト認めラル、時ハ總會ノ決議
ヲ以テ之ヲ解任スルコトヲ得

第八十九條

役員ニ欠員ヲ生ジタル時ハ通常總會ノ時期迄猶豫スル事能ハザル場合ニ
限リ臨時總會ヲ招集シテ之ヲ補缺ス

第九十條

總會ニ於テ役員ノ解任ヲ決議シタル時ハ同時に其後任者ノ選任ヲナス
理事ノ任期ハニケ年トシ監事ハニケ年トス但シ再選ヲ妨ケズ
理事長及事務理事ノ任期ハ理事ノ任期ニ從フ
補欠ノ馬選任セラレタル者ノ任期ハ前任者ノ残任期間トス
役員ハ任期満了後ト雖モ事務ノ遂行ニ支障アル時ハ後任者ノ解任スル迄
其職務ヲ行フモノトス

第九十一條

理事長ハ組合ヲ代表シ組合ノ業務ヲ總理ス

事務理事ハ理事長ヲ補佐シ常務ヲ執行ス

理事長事故アル時ハ理事ノ互選ニ依リ其代理者ヲ定ム

第九十二條

監事ノ職務左ノ如シ

一 組合ノ財産狀況ヲ監査スルコト

二 理事ノ業務執行ノ狀況ヲ監査スルコト

三 財産ノ狀況又ハ業務ニ付不正ノ虞アルコトヲ発見シタルトキハ之ヲ總會
又ハ監督官廳ニ報告スルコト

四 前號ノ報告ヲナス爲必要アルトキハ總會ヲ招集スルコト

五 組合ト理事トノ間ニ於テ契約又ハ訴訟ニ付組合ヲ代表スルコト

六 理事欠ケタル時ハ總會ヲ招集スルコト

第九十三條

理事監事ハ名譽職トス但シ事務理事ハ有給トス

第七章 職 員

第九十四條

本組合ニ左ノ職員ヲ置ク

書記 若干名

検査員 若干名

書記ノ内一名ヲ書記長トシ検査員ノ内一名ヲ検査長トス

第九十五條

書記ノ任免ハ理事長之ヲ行フ

第九十六條

検査員ノ任免ハ行政官廳ノ認可ヲ受ケ理事長之ヲ行フ
書記ハ役員ノ命ヲ受ケ庶務ニ従事ス
検査員ハ理事ノ命ヲ受ケ検査事務ニ従事ス

第八章 會 議

第九十七條

會議ヲ分チテ總會及理事會トス

第九十八條

總會ハ組合員ヲ以テ之ヲ組織シ理事會ハ理事ヲ以テ之ヲ組織ス
通常總會ハ毎年一回五月ニ之ヲ開ク
臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

一 理事長必要ト認メタルトキ

二 監事第九十二條ニヨリ必要ト認メタルトキ

三 第一百條ニ依リタルトキ

第九十九條

總會ニ於テ定款ニ別段ノ定メアルモノノ外左ノ事項ヲ議決ス
一 定款施行ニ關スル諸規則ノ制定又ハ変更
二 事業年度ニ於ケル借入金額ノ最高限度
三 一事業年度ニ於ケル一組合員ニ對シテ馬込貸付金額ノ最高限度
四 其他理事長ニ於テ必要ト認メタル事項

第一百條

總會ハ理事長之ヲ招集ス

第一百一條

組合員ハ總組合員中ノ五分ノ一以上同意ヲ得テ會議目的タル事項及其ノ招集ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ理事長ニ提出シテ總會ノ招集ヲ請求スルコトヲ得

第一百二條

理事長正當ノ理由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル請求アリタル後二週間內ニ總會招集ノ手續ヲ怠ラザル時ハ請求者ハ行政官廳ノ認可ヲ受ケ之ヲ招集スルコトヲ得

第一百三條

總會ノ招集ハ少クとも五日以前ニ會議ノ目的タル事項日時及場所ヲ記載シタル書面ヲ以テ各組合員ニ通知シテ之ヲナス
總會ハ理事長ヲ以テ議長トス理事長事故アル時ハ其ノ代理者議長ノ職務ヲ代理ス

第一百四條

監事又ハ第一百一條ニ依ル請求者ノ招集シタル總會ハ總會ヲ招集シタル者ヲ以テ議長トス其ノ多數ナル場合ニ於テハ其ノ互選ニ依ル總會ニ於テ必要ト認メタル時ハ出席者ノ互選ニ依リ議長ヲ定ムルコトヲ得
總會ノ決議ハ法令又ハ定款ニ別段ノ定メアル場合ヲ除クノ外總組合員ノ半数以上出席シ其ノ議決權ノ過半数ヲ以テ之ヲ決ス可否同数ナルトキハ議長ノ決スルコトニ依ル

第百五條

組合員ハ代理入ヲ以テ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ出席ト見做ス但シ組合員ニ非ザレハ代理入タルコトヲ得ズ

代理入ハ代理權ヲ證スル書面ヲ組合ニ提出スベシ

第百六條

組合員ハ五人以上ノ組合員ノ代理入トナルコトヲ得ス

第百七條

總會ノ決議ハ議長之ヲ作製シ少クトモ左ノ事項ヲ記載シ議長及出席者二名以上之ニ記名捺印スベシ

一 開會ノ日時及場所

二 組合員數及其ノ議決權總數

三 出席者數及其ノ議決權總數

四 議事ノ要項

五 議決シタル事項及賛否ノ議決權數

第百八條

理事會ニ於テハ定款ニ別段ノ定メアルモノノ外左ノ事項ヲ決議ス

一 總會ニ提出スベキ議案ノ審査

二 其他理事長ニ於テ必要ト認メタル事項

第百九條

理事會ハ理事長之ヲ招集ス

理事會ノ決議ハ理事ノ過半数ノ同意ヲ以テセザナス理事會ノ決議ヲ經ベ

キ事項ニシテ輕微ナルモノニ付テハ理事長ハ書面ニ依ル理事ノ表決ヲ以テ理事會ノ決議ニ代フルコトヲ得

第九章 計 算

第百十條

本組合ノ事業年度ハ毎年四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

第百十一條

理事長ハ毎事業年度ノ終リニ於テ左ノ書類ヲ調製シ通常總會ノ會日ヨリ少クトモ一週間前ニ監事ニ提出シ且ツ之ヲ主タル事務所ニ備フ

一 財産目録

二 貸借対照表

三 事業報告書

四 剩餘金處分案

第百十二條

組合員及組合ノ債權者ハ前項ニ掲ゲタル書類ノ閲覧ヲ求ムルコトヲ得

監事前條第一項ニ掲ゲタル書類ヲ受理シタルトキハ逐漸ナク之ヲ監査シ

意見書ヲ附シテ之ヲ理事長ニ送付スルコトヲ要ス理事長ハ前項ノ書類及

監事ノ意見書ヲ通常總會ニ提出シ其ノ承認ヲ求ム

第百十三條

本組合ノ資産ニ付テハ毎年左ノ率ヲ以テ減價償却ヲ爲ス

一 建物

十分ノ一以内

二 機械器具

十分ノ一以内

大

第百十條

一事業年度ニ於ケル總益金ヨリ總損金及繰越損欠金ヲ控除シタルモノヲ
剩餘金トシテ第二十四條ノ規定ニ依ル準備金及第二十六條ノ規定ニ依ル

第百十五條

積立金ヲ控除シ殘金アルトキハ之ヲ組合員ニ配當ス
剩餘金ノ配當ハ各事業年度末ニ於ケル拂込済出資金額ニ應ジテ之ヲナス
但シ年一割ヲ超エルコトヲ得ズ 組合員 其ノ出資ノ拂込ヲ終ル迄ハ前

第百十六條

項ノ配當金ハ其拂込ニ充ツ、第一項ノ配當ヲナシ尚剩餘アルトキハ後期
繰越金トシテ之ヲ次年度ニ繰越ス
組合員ニ配當スベキ剩餘金又ハ利分ノ計算ニ付テハ計算ノ基礎トナルベ

第百十七條

キ金額ニシテ計算上不便ナル端數金額ハ之ヲ四捨五入コトヲ得
組合員組合ニ對スル債務ヲ期限内ニ完納セザルトキハ更ニ期限ヲ指定シ
テ催告ヲナス
催告ヲナシタル時ハ一回ニ付金貳拾圓ノ督促手数料及日歩四釐ノ割合ニ

第百十八條

依ル延滞金ヲ徵收ス
第三十一條第一號ノ事業ニ要スル經費ノ一部ハ之ヲ組合員ニ分賦スルコ

第百十九條

トヲ得
前條ノ經費ノ收支豫算及分賦收入方法ハ少クトモ毎事業年度開始ノ日ヨ

リニケ月前ニ總會ニ於テ之ヲ議決ス
前項ノ決議ハ總會組合員ノ半數以上出席シ其ノ議決權ノ四分ノ三以上ヲ以
テ之ヲ爲ス

第十章 違約處分

第百二十條

組合員第三十條第四號第四十七條第二項第四十九條第二項第五
十二條第二項第五十六條第七十八條ノ規定ニ違反シタルトキハ拾圓以上

第百二十三條

壹千圓以下ノ過怠金ヲ課ス
違約處分ハ理事會ノ決議ヲ經テ理事長之ヲ行フ

第百二十四條

違約處分決定シタルトキハ理事長ハ違約者ノ住所氏名違約事實過怠金額

第百二十五條

及手續費用ヲ配載シタル處分書ヲ作製シ之ヲ違約者ニ送付ス
前條ノ處分ニ不服アル者ハ處分書ヲ受ケタル日より一週間以内ニ異議ノ
申出ヲナスコトヲ得、

第百二十六條

異議ノ申立アリタル時ハ其申立アリタル日より一月以内ニ異議解決委員
會ニ於テ之ヲ採決ス
前項ノ採決ニ對シテハ異議ヲ申立シタルコトヲ得ス
異議解決委員會ハ異議申立アリタル豫理理事長總會ニ於テ選任シタル委員
五名ヲ以テ之ヲ組織ス
委員ハ委員長一名ヲ互選ス

第百三十五條

異議ノ裁決ハ委員定數ノ過半数ノ同意ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ委員長ノ決スル所ニヨル

第百三十六條

違約者ハ處分書ノ送付ヲ受ケタル日より二週間内ニ過息金ヲ納付スベシ但シ異議ノ申立ラナシタル時ハ裁決書ノ送付ヲ受ケタル日より一週間内ニ納付スベシ

第十一章 定款変更及解散

第百三十七條

本定款ヲ変更セントスルトキハ總會ニ於テ總組合員ノ半数以上出席シ其ノ議決權ノ四分ノ三以上ヲ以テ議決ス

第百三十八條

本組合ハ左ノ事由ニ依リ解散ス

一總會ノ決議

二組合ノ合併

三組合ノ破産

四解散命令

前條ノ規定ハ解散及合併ノ決議ニ之ヲ準用ス

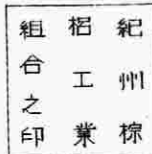
第百三十九條

本組合解散シタルトキハ理事其ノ清算入トナル但シ總會ノ決議ニ依リ組合員中ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得

第十二章 雑則

第百四十條

本組合ノ使用スル印章及証據ノ雛形左ノ如シ



角分二十一尺曲

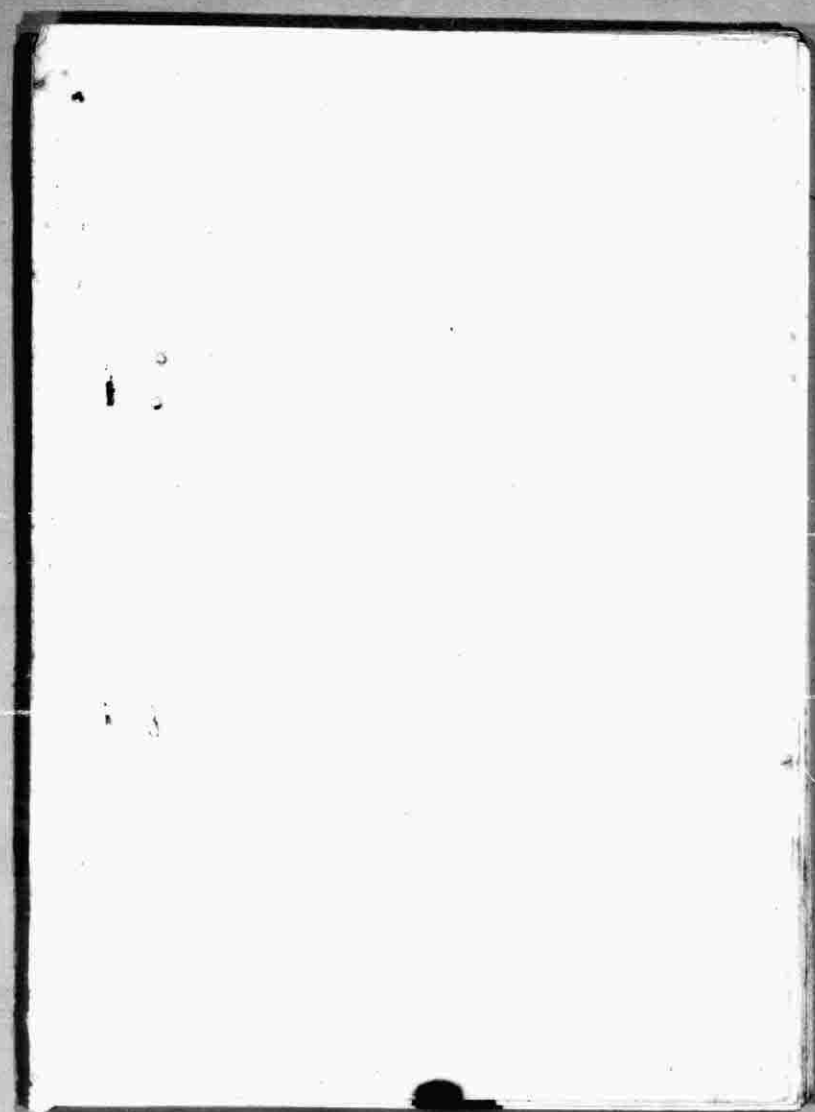


九分五尺曲

昭和十四年

五月十五日

認可 正 大 官 印



0581 県史編さん班移管資料 文書号 18

